

第35期 決算公告

2024年6月21日

東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
株式会社セガ フェイブ
(旧商号：株式会社セガトイズ)

代表取締役
杉野 行雄

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,981,948	流動負債	3,371,833
現金及び預金	18,484	支払手形	78,239
受取手形	531,596	買掛金	658,642
売掛金	805,814	短期借入金	567,562
商品及び製品	1,982,967	1年内返済予定長期借入金	1,190,000
原材料及び貯蔵品	259,254	リース債務	13,827
前払費用	57,186	未払金	70,701
前渡金	98,268	未払費用	576,347
未収入金	5,977	未払法人税等	3,582
未収消費税	58,606	契約負債	56,246
未収法人税	158,028	返金負債	19,740
その他	5,764	賞与引当金	127,579
		その他	9,365
固定資産	1,390,283		
有形固定資産	352,593	固定負債	71,939
建物	83,011	預り保証金	2,000
機械装置	4,195	長期リース債務	4,994
車両運搬具	14,077	資産除去債務	64,945
金型	50,781		
工具器具備品	53,763	負債合計	3,443,773
建設仮勘定	146,764	(純資産の部)	
無形固定資産	451,900	株主資本	1,924,905
ソフトウェア	84,272	資本金	100,000
ソフトウェア仮勘定	367,627	資本剰余金	1,094,297
		資本準備金	657
投資その他の資産	585,789	その他資本剰余金	1,093,640
投資有価証券	233,960	利益剰余金	730,607
関係会社株式	115,720	利益準備金	24,342
破産更生債権等	0	その他利益剰余金	706,265
敷金保証金	64,535	繰越利益剰余金	706,265
会員権	5,950	(うち当期純利益)	(△ 471,130)
繰延税金資産	170,023	評価・換算差額等	3,552
貸倒引当金	△ 4,400	その他有価証券評価差額金	1,794
		繰延ヘッジ損益	1,757
		純資産合計	1,928,457
資産合計	5,372,231	負債・純資産合計	5,372,231

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準及び関連会社株式

(a) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(b) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

② デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

③ 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(a) 商品・製品・原材料

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

(b) 貯蔵品

最終仕入原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

主に定額法を採用しております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

③ リース資産

(a) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

(b) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとした定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に債権の回収可能性を考慮した所要額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当期業績年度における負担分を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 重要なヘッジ会計の方法

(a) ヘッジ会計の方法

振当処理が認められている為替予約については、振当処理を採用しております。

(b) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段……為替予約

ヘッジ対象……売掛金、買掛金、未払費用、未払金

(c) ヘッジ方針

為替変動リスクをヘッジする目的において、対象債権債務の範囲内で為替予約取引を行っております。

(d) ヘッジの有効性評価の方法

個別取引毎にヘッジ効果を検証しております。

② グループ通算制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当事業年度 期首株式数	増加	減少	当事業年度 期末株式数
普通株式	21,906,655 株	—	—	21,906,655 株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2023年6月21日 定時株主総会	普通株式	118,295千円	5円4銭	2023年 3月31日	2023年 7月31日

3. 重要な後発事象に関する注記

共通支配下の取引等

(1) 吸収分割の目的

当グループは、2024年3月期を最終年度とした中期経営計画「Beyond the Status Quo～現状を打破し、サステナブルな企業へ～」を策定し、企業価値の拡大に取り組んでおり、エンタテインメントコンテンツ事業においては、主にコンシューマ分野において、ソニック・ザ・ヘッジホッグシリーズ、ペルソナシリーズ、龍が如くシリーズ等の主要ゲームタイトルのマルチプラットフォーム展開とグローバル同時発売を主軸とするピラー戦略の推進を掲げ、同戦略を着実に実行してまいりました。次期中期経営計画においては、エンタテインメントコンテンツ事業の主要戦略の一つとして、ピラー戦略を発展させ次のステージに進むべくトランスメディア展開の強化を掲げております。

トランスメディア戦略推進の一環として、当グループのアミューズメント機器事業と玩具事業を統合し、新たなビジネスユニットを設立するため、当社は、2024年1月9日開催の取締役会において、当社アミューズメント機器事業を吸収分割により、当社の子会社である株式会社セガトイズに承継すること、並びに、吸収分割承継会社（株式会社セガトイズ）の商号変更を実施することを決議し、2024年4月1日を効力発生日として、吸収分割及び吸収分割承継会社の商号変更を実施いたしました。

(2) 吸収分割の概要

① 分割する事業の内容

株式会社セガ：アミューズメント機器事業

② 企業結合の法的形式

当社を吸収分割承継会社、株式会社セガを吸収分割会社とする吸収分割

③ 分割当事会社の概要（2024年3月31日時点）

	吸収分割会社	吸収分割承継会社
名称	株式会社セガ	株式会社セガトイズ
事業内容	携帯電話、PC、スマートデバイス、家庭用ゲーム機向けゲーム関連コンテンツの企画・開発・販売及びアミューズメントゲーム機器の開発・販売等	玩具の開発・製造・販売
本店所在地	東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー	東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー
資本金	100百万円	100百万円
大株主及び持株比率	セガサミーホールディングス株式会社 100%	株式会社セガ 100%

※当社は、2024年4月1日付で株式会社セガフェイブへ商号変更

(3) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。